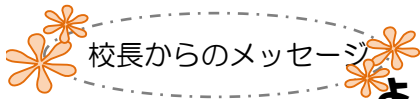


プラタナス

新宿区立四谷中学校
学校だより
第19号
平成24年1月31日



校長からのメッセージ

より良い学校を創る その2

前号の続きです。「四谷中学校をより良い学校にする Yotsuya, The Best Schoolの実現」、これは教職員の願いでもあり、保護者・地域の願いでもあります。そして、何より生徒の皆さんにとって大切です。校歌に「夢と希望に溢れる 我らが母校・我らの学びや 四谷中学校・栄冠に輝け 四谷中学校」とありますが、誇りをもって卒業できる学校、卒業後も名を称えられる学校というのは、その人の人生の「宝」です。

学校は「学ぶ場」です。ですから、そこでは、
○意欲をもちチャレンジする気持ち、
○失敗を恐れず果敢（かかん・決断力）をもち、思い切って物事をする（こと）に取り組む姿勢、
○誰もが嫌な思いをすることなく、安全・安心・健全な学校生活を仲良くおくれる状態が望ましいのです。その上に立って、一人ひとりの学力や体力、運動などの能力、特性や特技など、持てる力を高め、その可能性を実感できるような学校の雰囲気や仕組みが必要なのだと思います。

先日、とてもうれしいことが二つありました。一つは地域と協働で取り組んでいる四谷中学校の職場体験について、東京都で発表する機会があったことです。1月21日（土）、都議会議事堂1階の都民ホールで400人以上の参加者の中、学校運営協議会の高山俊達会長と2学年代表の男女生徒5人がプレゼンテーションを行いました。これまでも地域でのボランティア活動などで四谷中の特色ある教育が注目され、東京都で報告したことがあります。今回は、地域との協働でキャリア教育を展開していることが評価され、東京都教育委員会主催「わく（Work）わく（Work）Week Tokyo 中学生の職場体験」で東京都の中学校を代表して2校（調布市立第七中学校・四谷中学校）が発表を依頼され、当日、みごとな実践報告を行いました。全校生徒や保護者の前でもやった職場体験のプレゼンテーションですから、皆さんも覚えているでしょう。今後の職場体験の方向を示す優れた実践報告として大変好評でした。

もう一つは、その当日21日（土）と翌日22日（日）、全日本中学校技術・家庭科研究会主催の「第12回全国中学生創造ものづくりフェア」の「あなたのため

のおべんとう」コンクール全国大会に、東京都大会を1位で通過した新宿西戸山中学校とともに四谷中学校が東京都代表として出場しました。そして、なんと審査の結果、本校が最高位の賞である「文部科学大臣賞」を受賞したのです。まさに10年来の努力と継続が実った瞬間でした。顧問の伊藤江里子先生はじめ、歴代の部員や生徒の皆さんの長きにわたる努力の賜物でした。

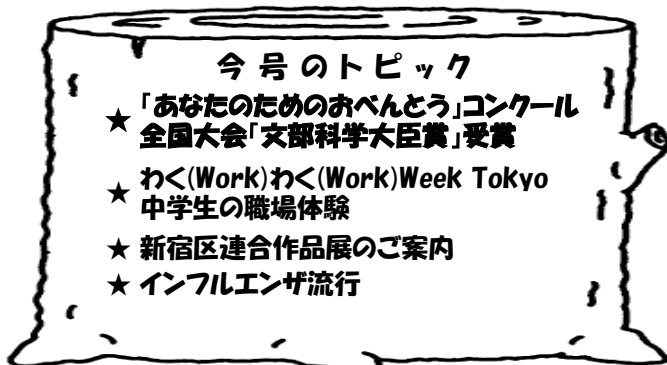
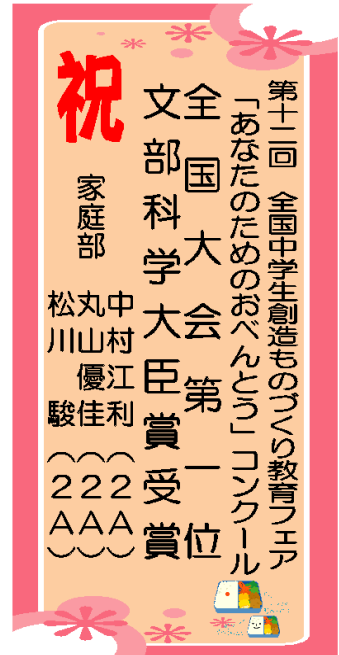
2つの出来事が示すように、日々の努力は積み重なり、やがて文化や習慣となって、優れた成果を生み出します。あせらず、じっくり取り組むこと、これは、個人の学習でも集団の生活でも、学校の教育活動でも皆同じだと思うのです。

12月20日（火）、学校運営協議会の方々と生徒代表の生徒会役員とが「よりよい良い学校を創る」ため、生徒会アンケート評価結果に基づき、話し合いを行い、内容を共有しました。また、1ヶ月後の1月20日（金）には同じ学校運営協議会の方々と1・2年の先生が、生徒・保護者・地域の学校アンケート結果を踏まえ、「より良い学校を創る」ために話し合いました。どちらもその成果が実感できたので、今後も続ける予定です。学校をより良くするためには、このような話し合いの継続も「努力の積み重ね」として大切だと思います。

私は「より良い学校を創る」ためには、次のような方向が必要であると考えています。それは、

- 1 話し合いにより皆が課題意識をもち、それを共有しながら、できることから一つずつ積み上げること【対話】
- 2 目標をしっかりと定め、それに向かって継続的に努力し、その努力を少しずつ積み重ねていくこと【継続】
- 3 生徒・教職員ばかりでなく、保護者・地域・支援者の力を生かすよう工夫すること【協働】
- 4 より良くなるための具体的な取り組みを決め、それを皆で実現し、推進していくこと【具現】
- 5 良さを生かし、それを伸ばすとともに、マイナスをカバーできる仕組みや手立てを開発すること【変革】

「来年度に向け、この方向性を大事にしながら、より具体的な取り組みを学校全体で推進します。」



「あなたのためのお弁当」コンクール全国大会「文部科学大臣賞」受賞



このコンクールは中学生が規定課題に沿ってお弁当を作り、その出来栄を競うものです。技術・家庭科で学習した内容を生かしながら、食べる人への思いを込めて料理し、食の重要性を知ることなどを目的としています。

今年の課題は「魚を使った調理」でした。都道府県大会を勝ち抜いた20チームが全国から出場し、彩りや配置の工夫、環境への配慮、食事摂取基準や食品群別摂取量の目安など、さまざまな観点から審査されました。

本校のお弁当は、参加生徒の病気療養中の叔母さんのために考えたメニューです。体力回復・食欲増進、免疫力の向上を考慮し、サバの梅しそのり巻き揚げ・山芋の味噌漬け・アサリとしょうがのまぜご飯などを調理しました。

歴史が好きな叔母さんのために、江戸の三白（白米・大根・豆腐）や、江戸野菜として知られる内藤かぼちゃなどを使用しました。器はリサイクルできる校内の竹を使用して、環境にも配慮したお弁当となりました。

参加した生徒は、「メニューの構成など、夏休み前から準備を進めてきました。土・日曜日も含め、何回も試作品を作り練習してきたのでうれしいです」と話してくれました。



わく(Work)わく(Work)Week Tokyo 中学生の職場体験



1月21日(土)に都庁で行われた「わく(Work)わく(Work)Week Tokyo 中学生の職場体験」に、本校の2年生5名と学校運営協議会会長高山俊達さんが出場し、本校の職場体験の実践について発表しました。

職場体験で学んだ技能や四谷の地域で取り組む職場体験実践を立派に報告することができました。



新宿区連合作品展のご案内

新宿区特別支援学級では、日頃の学習成果を発表するため、連合作品展を開催しております。新苑学級の生徒たちが、一生懸命仕上げた作品が展示されておりますので、是非お出かけください。

期間：平成24年2月5日(日)まで
午前10時～午後6時

会場：損保ジャパンビル 1階ロビー
西新宿1-26-1 Tel：3349-6020

インフルエンザが流行しています

1・2年生でインフルエンザが流行しています。大事なことはウィルスを体の中に入れないことです。以下の三つを守りましょう。

- 手洗い、うがいをこまめにする。
- 夜、睡眠を十分にとる。
- 外に出るときは、マスクを着用する。

医者よりインフルエンザと診断された場合は、出席停止という扱いになります。欠席にはなりません。学校までご連絡をお願いします。

